

AI 品質マネジメントイニシアティブの 設立について

2024 年 7 月 31 日

AI 品質マネジメントイニシアティブ事務局

人工知能 (AI) は近年急速に発達し、社会での活用への期待がますます高まっている。特に生成 AI の登場は AI 活用の裾野を急激に拡大している。その一方で、AI の利用がもたらす危険への懸念も深まり、各国で AI の利用に対する規制の準備が進んでいる。多くの企業にとって AI の有効活用は重要な課題であり、その際に、AI が問題を起こさないよう、AI を用いたシステムの品質を実現することが同時に求められている。AI システムの開発や利用に積極的な企業は、既に AI システムの品質実現に向けた、AI 品質マネジメントに取り組んでいる。

AI 品質マネジメントには AI システムに関わる各企業の取組みが欠かせないが、種々の規制への理解/対応や先端技術への対応など、各企業がやるべきことは多岐にわたり、これら全てに自前で対応するのは困難である。また社会全体で見ると重複した取組みが多くなり、非効率的である。AI システムの品質実現という公共の要請に適切に応じるためには、企業間の連携した取組みを充実させる必要がある。また、AI システムの品質確保に取り組む企業だからこそ分かる課題や機会についての知見を集め、産業界の声として規制主体を含めた社会に対して発信していくことが望ましい。

そこで、このたび、AI 品質の確保に現場で取り組む企業等に所属する有志個人が集まり、AI 品質マネジメントに取り組む企業間の互助と共同発信を目的として、「AI 品質マネジメントイニシアティブ」(AIQMI)を発足させた。当面は任意団体として活動し、近いうちに、趣旨に賛同する法人を会員とする一般社団法人に転換することを目指す。

定常的活動としては、以下の分科会を設け、定期会合により情報交換、合意形成、共同発信を行う。今月から活動を開始する。

WG1: 関連情報調査 (規制、標準化等の動向調査、意見の発信)

WG2: 実践支援資料の開発 (事例集、手引書など)

WG3: エコシステム育成 (支援サービスやツールの普及促進)

本イニシアティブは、関連する目的を持った他の組織や団体とも積極的に連携し、賛同できる取り組みに関して協力していく。多くの企業が、公的機関、標準化団体、他の産業団体などとやりとりする際に利用できる経路を提供する。

なお、本イニシアティブの設立や運営に関わる事務は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の委託業務「NEDO プロジェクトを核とした人材育成、産

学連携等の総合的展開／AI 品質マネジメントに係る講座」の一環として国立研究開発法人産業技術総合研究所が行っている。当面の間、参加者からの会費徴収の予定はない。

発足時のメンバー（暫定、五十音順、敬称略）

岡本 球夫	（パナソニックホールディングス株式会社）
大岩 寛	（国立研究開発法人産業技術総合研究所）
大谷 正樹	（オムロン株式会社）
北村 弘	（独立行政法人情報処理推進機構（IPA）／AI セーフティ・イン スティテュート）
吉瀬 紳剛	（株式会社ディアープロダクション）
桑島 洋	（株式会社デンソー）
小林 健一	（富士通株式会社）
小林 裕宜	（株式会社 Citadel AI）
小宮山 英明	（コニカミノルタ株式会社）
新原 敦介	（株式会社日立製作所）
妹尾 義樹	（国立研究開発法人産業技術総合研究所）
田部 尚志	（日本電気株式会社）
築地 テレサ	（SherLOCK 株式会社）
徳 隆宏	（ダイキン工業株式会社）
難波 孝彰	（パナソニックホールディングス株式会社）
長谷川 哲夫	（株式会社東芝）
浜谷 千波	（アドソル日進株式会社）
福島 真太郎	（トヨタ自動車株式会社）
松葉 威人	（株式会社 Citadel AI）
宗像 一樹	（富士通株式会社）
安井 裕司	（株式会社本田技術研究所）
山田 敦	（日本アイ・ビー・エム株式会社）

事務局連絡先

国立研究開発法人産業技術総合研究所
デジタルアーキテクチャ研究センター
AI 品質マネジメントイニシアティブ事務局
k.konishi@aist.go.jp